

## 第3章 都市づくりの基本方向

### 1. 今後の都市づくりの基本的考え方

まちづくりの課題に対応し、さらなる発展をしていくため、これからの吉富町は、次に掲げる考え方により、都市づくりを行っていくこととします。

#### ○人口を増やし、活気のあるまちをつくる

活力を維持・向上させ、町を持続的に発展させていくため、人口の増加を目指します。特に、若い世代の定住・流入を促進することを考えます。

このため、産業振興・雇用創出を積極的に行うとともに、教育・福祉施策など総合的なまちづくり施策と連携して、都市整備・住宅宅地供給を推進し、人口の流出防止、新規転入の促進を図ります。

#### ○都市施設を整備し、住みやすい環境をつくる

現在居住している住民にとっての快適性、利便性、安全性を向上させていくとともに、新たな人口の定住を受け入れられる条件を整えるため、住みよい生活環境の形成を目指します。

このため、道路、下水道など都市施設の整備により、安全・快適な住環境づくりを推進します。

#### ○近隣市町と連携し、住宅都市としての発展を図る

人口規模の小さな本町では、上下水道や小公園の整備など、直接住民生活に関わる都市機能は単独で整備できますが、必要な都市機能すべてを整備するには財源的にも難しい面があります。本町は豊前市、上毛町、大分県中津市に隣接しており、北九州市へも約1時間の距離にあり、住民生活の実態では、これら近隣都市の都市機能を利用するなど依存関係にあります。

そこで、近隣市町の商業機能、医療・福祉機能などとの役割分担や連携を図りながら、身近な都市機能の整備を推進し、生活利便性の高い住宅都市としての発展を目指します。

#### ○町の個性を活かし、魅力あるまちをつくる

住み続けたい町とするため、豊かな緑や広がりのある川や海、歴史・文化的資産など、今ある町の資源を活用し、自然豊かな魅力的な町を目指します。

このため、自然環境の保全、公園・緑地の整備を行うとともに、良好な景観の形成、歴史・文化を活用したまちづくりを進めていきます。

## 2. 将来都市像

第3次吉富町総合計画においては、町の将来像を「安心とゆたかさとうるおいの実感できるまち」とし、目指す将来像を実現するための施策の大綱として、7つの目標を定めています。

### ◇第3次吉富町総合計画の将来像と施策の大綱

#### 安心とゆたかさとうるおいの実感できるまち

- ・生活の中に自然があるまち
- ・心のふれあいがある学びのまち
- ・いきいきと健康で安心して暮らせるまち
- ・多彩で魅力ある文化が実感できるまち
- ・創造性豊かな活力あるまち
- ・ひとりひとりが情報を発信するまち
- ・ひらかれた行政をめざして

本計画では、第3次吉富町総合計画の将来像を踏まえ、今後の都市づくりの基本的考え方のもと、「吉富町都市計画マスタープラン」における将来都市像を以下に定めます。

### ◇将来都市像

#### 自然ゆたかな 住みよいコンパクトタウン 吉富

……20年後には、

- 海・川・山等の自然、広がりのある農地など豊かな環境が守られ、魅力ある資源として活かされ、うるおいのある憩いのまちとなっています
- 市街地と周辺の自然・農地とが調和した、密度の高いコンパクトなまちとなっています
- 災害などに対し安全で、安心して住めるまちとなっています
- 既存産業と自然資源を活かし、活力ある産業が展開されています
- 身近な生活道路や下水道が整備され、都市的な生活が享受できる、快適な住みよいまちとなっています
- 中津市に隣接する立地を活かし、適切な連携・役割分担のもと、利便性の高い住宅都市となっています

### 3. 都市づくりの基本目標

将来都市像として目指す「自然ゆたかな住みよいコンパクトタウン 吉富」を実現していくにあたっては、災害や事故がなく安心して暮らせるよう居住環境の向上を図るとともに、身近に何でも揃い、気軽に行き来できる機能的環境を整備・充実させ、豊かな自然環境をより快適なものにしていくことが基本的なこととして重要です。

そこで、以下に4つの都市づくりの基本目標を掲げ、将来都市像実現に向けた都市づくりを進めていきます。

#### ◇都市づくりの基本目標

**やさしさいっぱい 安心な都市づくり**

**魅力たっぷり 元気な都市づくり**

**交流はつらつ 便利な都市づくり**

**水・緑清らか 快適な都市づくり**

### (1) やさしさいっぱい 安心な都市づくり

おだやかな暮らしを営んでいく上で、自然災害や火災、公害などの心配がなく、交通事故や犯罪が少ないなど、安全・安心が守られていることが基本となります。

現在の都市空間が持っている危険性や問題点を取り除くとともに、近隣相互の配慮、住民同士の支え合いにより地域の生活環境を守り、子ども達や高齢者など誰もが安心して暮らせる、住む人にやさしい都市をつくっていきます。

### (2) 魅力たっぷり 元気な都市づくり

自然を活かした農業・漁業を守り育て、立地条件を活かして商業・工業を伸ばしていくことにより、本町の活力と豊かさを高めるとともに安心して子育てができ、子ども達が生き生きと成長できる、教育・文化・福祉が充実したまちとしていくことが、活気あるまちとして発展を続けるための基盤となります。

既存産業の振興・発展、企業誘致を積極的に推進するため、計画的な土地利用や、道路・下水道等の都市施設整備、J R 吉富駅周辺の開発などを推進するとともに、教育・文化・福祉環境の形成を図り、若い世代が定住する、元気あふれる魅力的な都市をつくっていきます。

### (3) 交流はつらつ 便利な都市づくり

小さな町ながら多様なものが一通り揃い、密接なコミュニティが形成されている『コンパクトな町』としての特性を伸ばし、住民誰もが豊かな生活を送れる便利な都市としていくことが重要です。

商業施設、医療福祉施設などの立地を促進するとともに、幹線道路や公共施設の整備などを進め、各種施設の利用や交通の利便性を高めていくことにより、住民が活発に行動・活動でき、外からも多くの人を訪れ、住みたくなる、交流が盛んな都市をつくっていきます。

### (4) 水・緑清らか 快適な都市づくり

海・川・ため池や緑などの豊かな自然環境や、古くから引き継がれてきた歴史的・文化的な財産を活用し、ふるさととして誇りを持てるような、快適でうるおいのある都市としていくことが目標となります。

自然環境、ゆとりある田園空間、由緒ある歴史資産や地域住民により支えられてきた文化などをまちづくりの資源として守り・育て・活用し、美しく個性豊かな都市をつくっていきます。